

まちの話題

西部地震の経験を活かして

中越沖地震初期支援活動報告会



被災地には計5人のスタッフが派遣

7月16日に発生した中越沖地震の支援のため日野ボランティアネットワーク（小谷博徳代表）から派遣されたスタッフによる報告会が、8月9日、山村開発センターで開かれ、町民ら約30人が参加しました。

報告会では、山下弘彦さん（根雨）ら3人のスタッフが、被災状況や支援活動の内容などについて報告しました。山下さんは、「今回の地震では家屋被害が大きく、危険と判定された家屋が多かった。また、市町村合併で自治体の範囲が広がったため、同じ自治体でも都市部と漁山村部が混在しており、情報がうまく伝達されていない部分があった」と話し、参加者らは、西部地震の被災体験を思い出しながら耳を傾けていました。

きれいな環境を守ろう

明地峠ごみ拾い作業



拾ったごみはきちんと分別し処理

8月の「道路を守る月間」に合わせて、恒例の明地峠のごみ拾いが、8月10日に行われました。

作業には、町民ボランティアや役場職員17人が参加し、展望駐車場や国道180号周辺のごみ拾いを行いました。展望駐車場周辺には、茂みの中などに空き缶や弁当がら、不燃ごみが散乱しており、参加者らは一つ一つ拾い上げてごみ袋に入れていました。道路や公園は皆の財産です。美しい環境のため、みだりにごみを捨てないようにしましょう。

夏休みの宿題できた

セルプひの夏休み一 作教室

子どもたちに夏休みの作業を通してものづくりの楽しさを味わってもらおうと、8月11日、夏休み工作教室が、障害者授産施設セルプひの（根雨）で開かれました。

参加した17人の子どもは、木製の箱やキーホルダーを作りました。また、セルプひの利用者も作業を手伝い、協力し合いながら作品を作りました。

会場ではバザーもあり、地域住民やお盆の帰省客らでにぎわいました。

オシドリが運んだ交流

西田小学校児童が来町

オシドリグループ（池岡幸三代表）と交流している東京都杉並区西田小学校の児童9人が、8月17日から20日にかけて来町し、さまざまな体験活動を行いました。

児童らは、毎年オシドリのえさを送るなどグループと交流しており、来町するのは昨年に続いて2回目のこと。子どもたちはカヌー教室に参加して日野町の子どもたちと交流したほか、歴史民俗資料館、金持神社など町内の施設などを見学しました。

子どもたちは、「カヌー体験が楽しかった。この5日間でいろいろな体験ができ、日野町が大好きになりました」と感想を話していました。



ドリルを使った難しい作業も助け合って



根雨駅に迎えにきた関係者らと記念撮影



21人の少ない部員ながら、粒のそろった演奏が自慢

素晴らしい音の競演

日野中学校吹奏楽部サマ コンサート

日野中学校吹奏楽部が日ごろの練習の成果を披露するサマーコンサートが、8月19日、町文化センターで開かれました。

日野中学校吹奏楽部は、8月の全日本吹奏楽コンクール鳥取県大会で金賞を受賞、中国大会に出場するなど、めざましい活躍をしているクラブです。

今回のコンサートでは、金賞受賞曲をはじめ映画の主題歌などを迫力たっぷりに聴かせました。

また、ゲストに出雲高校OBアンサンブルを迎え、合同演奏するなど盛りだくさんの内容で、客席からは大きな拍手が送られました。

年に一度の大規模演習

西部広域消防圏連合演習



狭い路地でもホースを展開。住宅地の火災に備える。

県西部の7町村の消防団と広域消防が応援協定に基づいた消防訓練をする西部広域消防圏連合演習が、8月26日、黒坂で行われました。

訓練は、水利の少ない黒坂地内での大規模な住宅火災を想定したもので、黒坂1区集会所から出火した火災が、2か所に飛び火したという設定で訓練が行われました。

訓練では、各町村の消防団と広域消防が連携して迅速な消火活動を展開しました。また、地元住民による冷たい麦茶のサービスもあり、訓練後の団員の疲れを癒しました。

演じる楽しさ味わう

子どもお芝居教室

まちの子どもたちに演劇の楽しさや豊かな心を学んでもらおうと、8月28日、子どもお芝居教室が町文化センターで開かれました。

参加したのは、町内の小学生10人。また、町内で活動する劇団、お芝居くらぶ・さん・ふいーなどのメンバー4人が講師として参加しました。

子どもたちは、ストレッチや発声練習などの基礎練習を教わったり、ミニゲームを通してコミュニケーションの大切さなどを学びました。

最後はエチュード（即興劇）に挑戦。自分でせりふを考えながら演じるという初めての体験にとまどいながらも、楽しみながら演じていました。



即興で「シンデレラ」を上演。段取りも自分で考えて

恩田さんカヌーで第2位

プリヨンカップ全国大会



週1～2回は練習しているという恩田さん。今後の活躍が期待されます

8月26日、江の川カヌー公園さくぎ（広島県作木村）で開かれた、中国地方を中心にしたカヌー愛好者のカヌー大会、プリヨンカップ全国大会（同実行委員会主催）で、小学生男子の部に出場した黒坂小学校5年の恩田晃匠さん（下菅）が見事第2位に輝きました。

恩田さんは昨年からカヌーの練習を始め、今回が初めての大会出場。恩田さんは、「途中難しい所もあったけど、日野川より緩やかなコースでやりやすかった。次の大会では1位になりたいです」と感想とこれからの抱負を話しました。